

クールアース・デー記念 「セタライトダウン in 札幌」



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



- 【日 時】 平成20年7月7日(月) 17:00～20:30(開場・報道受付 16:00)
【場 所】 大倉山ジャンプ競技場(札幌市中央区宮の森1274番)
【主 催】 チーム・マイナス6%(環境省)
【協 力】 札幌市、北海道、北海道地球温暖化防止活動推進センター、
100万人のキャンドルナイト実行委員会、
北海道洞爺湖サミット道民会議、カメヤマローソク
【内 容】 7月7日クールアース・デーを記念し、子どもらによる地球温暖化
防止 メッセージ、ライトダウンのカウントダウン、キャンドルナイト、
ライブ&トークショー等を通じ、地球温暖化問題を考えます。
なお、地球温暖化の現状や環境メッセージ等の展示もあります。

【参加申込】メールにて、以下の宛先にお申し込みください。

E-mail:info@team-6.net (PC、携帯とも)

※タイトルを「セタライトダウン」とし、氏名、連絡先(電話番号・E-mail)、同伴参加人数、同伴参加者氏名(申込者を除き2名まで可能)を記載願います。

当選者には7月3日までに当選通知をFAX又はメールにて返信いたしますので、ご来場の際に当選メールのプリントアウト(携帯メールの場合は当選メールが見られる携帯画面を提示)をお持ち下さい。また、同伴参加者については身分を証明できるものをご持参下さい。なお、申し込みは、参加希望者一人につき一通とさせていただきます。(参加費無料)

チーム・マイナス6%では、7月7日(月)にクールアース・デー記念「セタライトダウン in 札幌」を開催します。

このイベントは、6月17日(火)に開催された地球温暖化対策推進本部において、洞爺湖サミットの初日にあたる7月7日(月)を「クールアース・デー」とすることを決めたのを踏まえ、地球温暖化について身のまわりの「あかり」から気づき・考えることを目的として、日本全国で行われるセタライトダウンと連携して大倉山ジャンプ競技場において実施するものです。

なお、チーム・マイナス6%では「セタライトダウン」として7月7日の午後8時から10時までのライトダウンを呼びかけてきましたが、6月25日(水)現在で、同ライトダウンへの参加施設数(ライトダウンHPIに登録があったもの)は全国約7万箇所となっています。

また、当日はライトダウンイベントの他、北海道経済センターAホールにてシンポジウム「あかりから考える地球温暖化」が開催されます。

プログラム(予定)

16:00～

開場

17:00～17:30

オープニングライブ① ゴスペル「Natsuki with ブライトサッポロゴスペルチーム」

Natsuki

ゴスペルシンガー。札幌市出身。音楽家である母の影響で3歳の頃から、ピアノ・オルガンを始め、8歳からアコーディオン・マリンバを始める。小中高を通じHBC少年少女合唱団に所属し、中学から声楽を始める。北星学園女子高等学校音楽科、フェリス学院大学音楽学部声楽学科卒業。

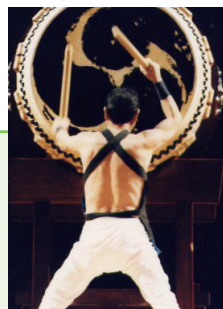


17:30～18:00

オープニングライブ② 和太鼓「橋本流地獄太鼓」

橋本流地獄太鼓

平成2年10月登別温泉地獄太鼓(昭和40年創設)の創始者 橋本光司氏を代表指導者として、札幌市南区を拠点に設立されました。北の大地を足でつかみスピード感!力強さ!大胆な振りで、視覚・聴覚を通し心に訴える独自の太鼓を目指しています。演奏活動の傍ら学校や企業の太鼓クラブの指導など幅広い活動で、和太鼓の普及・社会的向上にも努めています。



18:00～18:30 アスリート・トークショー

1998年冬季オリンピック長野大会でスキージャンプ団体ラージヒルで見事に優勝、私たちに多くの感動をくれた原田雅彦さん、船木和喜さんが大倉山に登場。ウインタースポーツを通じて感じた地球温暖化について、またジャンプの魅力・醍醐味も熱く語っていただきます。



原田雅彦 SAJ20承認第1509号



船木和喜 SAJ20承認第1510号

18:30～18:55 オープニングセレモニー

大倉山に夜の帳が降りると、クールアース・デー記念「セタライトダウン in 札幌」オープニングセレモニーがスタート。こども環境サミット札幌に参加した地元の子どもたちも登場し、青い地球への思いを発信します。

- 主催者挨拶（鴨下一郎 環境大臣）
- 開催市代表挨拶（札幌市長 上田文雄）
- こども環境サミット in 札幌 参加者による環境宣言

18:55～19:25 ガイアナイト・ライブ

ライトダウン・カウントダウンに向けてみなさんに素敵なライブステージを届けるのは、北海道出身の福原美穂さん。

福原美穂（ふくはら みほ）

北海道出身。20歳。両親が音楽好きなこともあり、常にさまざまな音楽に囲まれ育つ。15歳の時地元テレビに出演したことがきっかけで06年5月、『The Roots』、10月にEP『Step☆Out』を道内のみでリリース。HMV札幌チャートでTOP10（最高3位）、FM NORTH WAVEでもOAチャートTOP10に入るなど道内でもの凄い勢いで話題となり、2タイトル10,000枚（全国規模換算40万枚）を超すヒットとなっている。08年2月に日本人としてはじめて、米・LAの黒人教会にて「奇跡の子」と称されるパフォーマンスを披露、黒人教会220年の歴史を変えたと、賞賛を受ける。その後、北海道Zepp Sapporoにて2,000人を集める初ワンマンライブを行い、4月16日に「CHANGE」でメジャーデビュー。有線のリクエストチャート最高位4位、SSTV、MTV、M-ON TV衛星3局波にてヘビーローテーションアーティストとして選ばれ、女性アーティストとして全国ラジオ局パワープレイ史上最多獲得し話題となる。



19:25～19:40 休憩・映像放映

19:40～20:00 ライトダウン・カウントダウン

大倉山ジャンプ台のライトダウンを参加者のみなさんとともにカウントダウン。キャンドルの明かりが幻想的に広がる感動的なシーンです。

20:00～20:25 セタライトダウン・ライブ

カウントダウンに続いてキャンドルの明かりのなか、登場は一青窈さん。一青窈さんの歌声が大倉山を包みます。

一青 窈（ひとと よう）

1976年9月20日東京生まれ。台湾人の父と日本人の母の間に生まれる。慶應義塾大学環境情報学部(SFC)卒。大学時代にはアカペラサークルでストリートライブも行う。2002年、シングル「もらい泣き」でデビュー。以降、全ての作品の作詞を手がける。2004年、台湾の巨匠、侯孝賢(ホウ・シャオシェン)監督による、映画「珈琲時光」に初主演、活躍の場を広げる。同年に発表したシングル「ハナミズキ」は、もともとは9・11の同時多発テロをきっかけに作られた作品。2007年には、初のベストアルバム「BESTYO」をリリースしロング ヒットとなっている。今年3月に最新アルバム「Key」を、5月に初の単行本「明日の言付(ことづ)け」を発売。9月16日には初の武道館公演が決定。詳しくは<http://www.hitotoyo.ne.jp/>



20:30 ライトダウン・フィナーレ

アクセスマップ



【臨時直通バスのみのご来場になります。】

地下鉄東西線「円山公園」駅下車後、2番出口へ。

円山バスターミナルからJ臨時直通バス「大倉山競技場入口」下車
(所要時間:10~15分。バス料金:200円)。

※駐車場は7月7日イベント当日14:00以降は入退場ともに不可となります。

ソーラーパワートラック

クールアースデー記念「セタライトダウン in 札幌」は地球温暖化防止の観点から、
ソーラーパワートラック(太陽光発電、蓄電)をメインステージとして活用します。



株式会社キシムラインダストリー